

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年11月分)

1. 調査実施期間 平成24年 10月20日～11月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

11月分の回答企業数は31社、回収率は77.5%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/11月	24/12月	25/1月
仕入動向	国産材	-8.3	2.1	-12.5
	外材	-13.3	8.3	-18.3
販売動向	国産材	-12.5	-2.1	-16.7
	外材	-13.3	0.0	-16.7
在庫動向	国産材	0.0	-10.9	-6.5
	外材	-8.9	-1.8	-12.5

仕入れは、先行き不透明感、年末年始の休みもあって国産材、外材ともは11月のマイナスから暮れの小さなプラスを挟み、1月に向けマイナスに。
販売も同様で、国産材はマイナス基調で推移、外材は11月のマイナスから暮れのゼロを挟み1月に向けマイナスに。
在庫は、先行き不透明で、国産材は11月のゼロから1月に向けマイナスに、外材はマイナス基調で推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	24/11月	24/12月	25/1月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	3.1	0.0	-3.1
米ツガ正角(現地挽)	2.9	5.9	2.9
米ツガ防腐土台角	2.9	2.9	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.9	5.9	2.9
米マツ平角	2.9	0.0	-2.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	5.9	17.6	8.8
ホワイトウッド集成管柱	13.2	18.4	7.9
レッドウッド集成平角	14.7	14.7	5.9
型枠合板(輸入)	3.6	3.6	0.0
針葉樹構造用合板	-30.0	0.0	0.0
針葉樹構造用合板(厚物)	-21.4	0.0	0.0

スギ正角(グリーン)、スギ正角(KD)及びヒノキ正角は横ばいで推移、ヒノキ土台角は11月の小さなプラスから1月に向け小さなマイナスに。
米ツガ正角、防腐土台角及び割物はやや強含みないし保合で推移。米マツ平角は、11月の小さなプラスから1月に向け横ばいなし、やや弱保合に。
北洋アカマツタルキはやや強含み。
WW集成管柱、RW集成平角は強含みないし、やや強含みで推移。合板は、輸入合板はやや強保合で推移し1月には保合に、構造用合板及び構造用(厚物)は弱い、1月に向け保合に。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太では米国物、カナダ物とも輸出価格が上げの様子。米国国内製材需要の増加、中国向けの配船の回復などが値上げの要因と思われる。冬場に向かいスプルー等白系丸太の不足感は全く解消されていない。(東京：米材問屋) 来月入荷まで開店休業。(東京：米材問屋)</p> <p>10月は予想以上に売れた。11月は少し売り上げが落ちると思うので仕入れは横ばいか、やや減らす。(東京：集成材問屋) 良材は積極的に買おうと思うが、良材が少ない。(東京：集成材等問屋) 少々仕入れにくいアイテムもあるが、それほど困らない。(東京：外材問屋) L.C分はストップ、国内仕入れのみ。(東京：外材問屋)</p> <p>1月のセールに向けて来月から仕入れやや増加、1月のセールに期待。(東海：外材問屋)</p> <p>在庫を減らす動きが多く必要な物だけ仕入れする状況。(東京：南洋・中国材問屋) 産地は雨季入りで強含みの唱え。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>状況に変わりなく、相変わらずスギ柱角良材は不足気味。(東京：国産材問屋)</p> <p>荷動きはあるが通常在庫を維持。(東京：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太京浜マーケットでは公共建築物を中心とした注文材見積がメーカーに増加しており、オールダグロスを中心とした丸太の動きも安定している。(東京：米材問屋) 来月入荷分の予約が続々と入っているが、今までのように何でも良いというのではなく樹種を変えて安いものという注文が増え、変化の兆しも。(東京：米材問屋)</p> <p>11月は10月ほどの売り上げは上がらないと予測。(東京：集成材問屋) スギの枠材関係はまあまあ動いている。(東京：集成材等問屋) 小口注文ばかり。(東京：外材問屋)</p> <p>一般的にはプレカット工場の稼働が回復し、荷動き良くなっている。(東海：外材問屋)</p> <p>造作材の荷動きは悪い。バンドルではなく足りないサイズはバラ買いが目立つ。(東京：南洋・中国材問屋) 荷動きは増加するも、全体量は増えておらず価格も伸びない。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>造作材の動きは良い。(東京：国産材等問屋) 秋需の手応えがなく、年末に向けて盛り上がるムードもない。(東京：国産材問屋)</p> <p>リフォームや店舗の内装工事が多く羽柄材の動きは良いが構造材が動かない。(東京：仲買・小売) 全体的に低調。(東京：仲買・小売) 小規模マンション現場の動き活発化を感じるし、見積もそれなりにある。(東京：仲買・小売)</p> <p>例年の11月と比べて荷動きが悪い。(東海：仲買・小売)</p> <p>変化なく、静かな年末を迎えようとしている。(大阪：仲買・小売) 年末を控え仕事の量は先の目途立たず。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>米マツ一般材丸太本船入港は年内1回を予定しているが、長期間屋手持ち在庫も見られず適正在庫である。(東京：米材問屋) 在庫は全くない。(東京：米材問屋)</p> <p>在庫は増やさず減らさず現状維持。(東京：集成材等問屋)</p> <p>在庫は適正。(東京：外材問屋)</p> <p>北欧材の羽柄材が品薄で値上がり傾向、今後も大量入荷は見込めず国内の再割が増加しそう。(東海：外材問屋)</p> <p>目立った動きはない。(東京：南洋・中国材問屋) 入荷少ないが出荷量も少なく前月同様。(東京：南洋・中国材問屋)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	変わらず。(東海：外材問屋)
ヒノキ正角 土台角	変わらず。(東海：外材問屋)
米ツガ	<p>入荷量も安定し、出荷も変化なし。今後、米マツ現地挽の動向によっては、やや上昇も。(東京：外材問屋)</p> <p>変わらず。(東海：外材問屋)</p> <p>材が少なく強いと聞かすが、まだ実際に上がってきていない。(東京：仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>価格が変動する気配はない。(東京：外材問屋) 価格伸びず横ばい。(東京：外材問屋)</p> <p>集成材の安値で変えられない。(東海：外材問屋)</p>
北洋アカマツタルキ	<p>入荷量少なく上級材に品不足が出て価格上昇、下級材は横ばいからやや上昇。(東京：外材問屋)</p> <p>北欧材の不足で先々は不透明。(東海：外材問屋)</p> <p>部分的に品薄の物が出ているが、値段にはそれほど現れていない。(東京：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>11月は品薄で値上がりするかもしれない。(東京：集成材等問屋) 集成平角も変動の気配はない。(東京：外材問屋) W.W割物、間柱は入荷少なく品不足続き急激な上昇。(東京：外材問屋)</p> <p>現地の生産調整で、先物がやや強気配。近々1,500円/本になりそう。底値になって3カ月程たち、需要が増えれば値戻しも。(東海：外材問屋)</p> <p>W.W小割物2,000円/m3程度値上がり。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>針葉樹は荷動き悪く、現状の価格維持が一杯。まだ安く出回っている様子。(東海：外材問屋)</p> <p>針葉樹は弱い。(東京：仲買・小売)</p> <p>変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>